



平成30年7月15日 第811号

一般財団法人日本遺族会 東京都千代田区七号 千代田三番地 電話 03-3261-5521 03-00160-6-25389 電報掛 入回15日発行 定価 毎月1,500円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、遺族の品格、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

# 第八回評議員会を開催

## 理事、評議員の一部改選

日本遺族会は六月十二日、第八回評議員会を靖国会館で開催した。理事及び評議員の一部改選、平成二十九年度決算が審議された。全会一致で承認された。また、五月二十五日開催の第十五回理事会で承認された平成二十九年度事業報告及び収支計算書、平成三十一年度政府予算に対する本会の要望事項の取りまとめ等の指針が報告された。

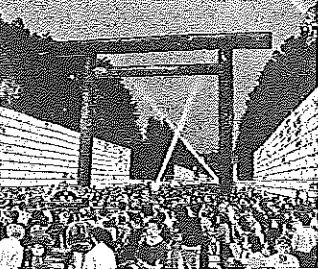


第8回評議員会で水落敬栄会長に代わり、宇田川劍雄副会長が挨拶=6月12日、靖国会館で

感謝の言葉を述べ、水落代表として久谷清邦氏が監査の結果を報告され、審議を経て承認された。次に森田次夫顧問が紹介された後、議長の出発が語られた。議長には稲島豊の安齋清氏が選出され、議長から理事稲島豊、人々の指名がなされた後、議事に入った。はじめに本会役員の一部改選が語られ、新理事に大長敬宏治氏、新評議員に山田芳志郎氏、新監査員がそれぞれ選任された。次に、平成二十九年度決算が語られ、監事を

本会では、今後の遺族会のあり方が問われていることから、特別委員会を設置して遺族会抱える諸問題を検討することがすでに決定されている。先の理事会では、特別委員会の構成員を副会長、専務理事、常務理事(女性部長含む)、事務局長協議会から幹事長、青年部から部長の十一人が選任され、さらに、外部有識者として昭和館館長、厚生労働省大臣官房審議官・援護担当の一人をオプザーバーとして迎えることが決まった。今後、特別委員会は今年九月に初会合を開く予定である。

支部長交代  
宮崎・島根で  
▽宮崎県遺族連合会 関谷 忠氏 (六月二十四日付)  
▽島根県遺族連合会 山崎 義 興氏 (六月二十六日付)



靖国神社の夏の風物詩 7.13~7.16 みたままつり

関東申信では6月29日梅雨明けとなった。1951年の統計開始以降最も早く、6月の発表も初めてという。サンカウールドカップという世界の大舞台で大活躍した日本の選手団そのサムライジャパンのユニホームにも似た祝福サムライブルーの青空が一気に広がり夏本番を迎えた。同じく夏空が広がる南の島。先の大戦で米軍に占領された小笠原諸島が、日本に返還されてから50年を迎えた。父島では、返還祭が開かれ島民等は日本に返還されてから50年を迎えた。戦争中約7700人いた島民の多くが本土に強制疎開させられ、返還までは吹寄せの島民しか帰島を許されなかった。疎開から24年間歴史は寸断されたままだった。先人の苦勞と尽力が今の生活がある。1日付は語った。返還祭には約800人が参加し、首飾りや腰みものつけた地元民による「雷陣踊り」が披露され彩りを添えた。輝き出した。炎天下に恒例の平和祈願祭大行進から沖縄全戦没者追悼式まで一連の行事が執り行われた。なかでも今年には24日台湾出身の日本兵等を追悼する慰霊碑の除幕式に李登輝元総統が出席し、日本側は謝意を示した。李氏は95歳。入院して体調を整え訪日、日台の絆を強くアピールし連携への深い思いを明らかにした。夏空のように大きく広がる事を願う。(A)

### 日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の見守り改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。  
年間購読料/1,560円 (1年間 12回 税金・送料込)  
お申込み 日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

「平成30年7月豪雨」および「大阪北部地震」により被害に遭われた皆様にご挨拶申し上げます。日本遺族会

### 慰霊巡拝の旅・国内外のご旅行は、小田急トラベルにご相談下さい

海外への慰霊巡拝や戦跡めぐりをはじめ国内外のご旅行の際は団体から個人まで弊社でご相談承ります。

- ☆トラック・パラオ諸島
- ☆マリアナ諸島
- ☆東部ニューギニア
- ☆ソロモン諸島
- ☆ホルネオ 他

お問合せはこちらまで  
株式会社小田急トラベル 外販営業部 首都圏営業センター (観光庁長官登録旅行業365号)  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-28-12  
TEL: 03-5302-3091  
担当: 向井・日沖 (営業時間: 月~金 9:30~18:30 土日祝休み)

# 沖縄慰霊大行進を実施

## 平和を願い摩文仁の丘へ

終戦73年  
「慰霊の日」

沖縄は六月二十三日、住民を巻き込み二十三万余の尊い命が失われた地上戦が終結して七十三年目の「慰霊の日」を迎えた。県内各地で戦没者の冥福を祈る慰霊行事が執り行われる中、日本遺族会は沖縄県遺族連合会と共催で第五十七回平和祈願慰霊大行進を実施し、参加者は戦没者の御霊を慰め、世界の恒久平和を祈願し、摩文仁へと行進した。

梅雨が明け、強い日差しが大戦において散華されたの下、午前八時三十分、本会からの参加者遺族六十七人をはじめ県内外から約七百人が、糸満市役所の南浜公園広場に集まり、第五十七回平和祈願大会が開催された。

開会のごとびに、沖繩県の犠牲者に対し、沖繩戦の犠牲者に対し、正沖繩遺族連合会会長が「苦難の撤退を余儀なくされた方々に思いを寄せ、平和を願うとともに、

先頭に、国旗を掲げた平和祈願隊は、最後の激戦地となった糸満市摩文仁を目指し出発した。参加者たちは、砲撃降りし

全戦没者追悼式には、平和祈願隊に到着、沖繩全戦没者追悼式会場に入場すると、式参列者から大きな拍手で迎えられ、

が参列して、正午の時鐘に合わせ黙祷を捧げた。追悼式では、各代表が献花し、宮城会長が追悼の

日本遺族会は、日本戦没者遺骨収集推進協会が実施している海外に未だ

遺骨収集等事業を実施  
マリアナ諸島及び硫黄島で

日本遺族会は、六月六日から十七日までの先発隊、六月十五日から二十

部改選の平成29年度計算書類等について、  
▼事務局局長会議 6月13日  
①支部事務局局長の交代の第15回理事會、第8回評議員會の決定事項



追悼のごとびに、アビール

族の幸せを念しながら戦場へと赴き、帰らぬ人となり、また一般住民が戦禍に巻き込まれ、倒れたことは数えきれぬことであろう。

抜いて参りました。一九四五年四月一日、米軍は沖繩本島に上陸

進を実施、只今この追悼式に参列いたしております。

沖繩には、未だ大きな米軍基地があり、米軍普天間飛行場の早急なる移設を望みます。

本日の追悼式に参列頂いた皆さまに、先頭を導いた水落敬栄会長が、

問題については、総理として再度特段のご配慮をお願いしたところであり、

本日に、内閣総理大臣はじめ、各界代表の方々及び遺族多数、参列のもと、

沖繩県遺族連合会 会長 宮城篤正

本日は、内閣総理大臣はじめ、各界代表の方々及び遺族多数、参列のもと、

終戦から七十二年、いまだに地下に埋没したご遺骨が発見され、公共工事や宅地造成、事業現場等で、

私達戦没者遺族は、英霊顕彰と平和運動を推進するたため、

遺骨収集等事業を実施  
マリアナ諸島及び硫黄島で

日本遺族会は、六月六日から十七日までの先発隊、六月十五日から二十

部改選の平成29年度計算書類等について、  
▼事務局局長会議 6月13日  
①支部事務局局長の交代の第15回理事會、第8回評議員會の決定事項

問題については、総理として再度特段のご配慮をお願いしたところであり、

今年はその凄惨な沖縄戦から七十二年、思わぬ地獄のような戦争体験が昨日のように脳裏に浮かび、

今年はその凄惨な沖縄戦から七十二年、思わぬ地獄のような戦争体験が昨日のように脳裏に浮かび、

今年はその凄惨な沖縄戦から七十二年、思わぬ地獄のような戦争体験が昨日のように脳裏に浮かび、

今年はその凄惨な沖縄戦から七十二年、思わぬ地獄のような戦争体験が昨日のように脳裏に浮かび、

今年はその凄惨な沖縄戦から七十二年、思わぬ地獄のような戦争体験が昨日のように脳裏に浮かび、

今年はその凄惨な沖縄戦から七十二年、思わぬ地獄のような戦争体験が昨日のように脳裏に浮かび、

今年はその凄惨な沖縄戦から七十二年、思わぬ地獄のような戦争体験が昨日のように脳裏に浮かび、

今年はその凄惨な沖縄戦から七十二年、思わぬ地獄のような戦争体験が昨日のように脳裏に浮かび、

今年はその凄惨な沖縄戦から七十二年、思わぬ地獄のような戦争体験が昨日のように脳裏に浮かび、



平和祈願大会で挨拶に立つ水落敬栄本会会長

平和祈願大会で挨拶に立つ水落敬栄本会会長

平和祈願大会で挨拶に立つ水落敬栄本会会長

平和祈願大会で挨拶に立つ水落敬栄本会会長

平和祈願大会で挨拶に立つ水落敬栄本会会長

平和祈願大会で挨拶に立つ水落敬栄本会会長

平和祈願大会で挨拶に立つ水落敬栄本会会長

平和祈願大会で挨拶に立つ水落敬栄本会会長

57回 平和祈願 慰霊 大行進

平成30年度・戦没者遺児による慰霊友好親善事業・実施計画概要

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 北ボルネオ・マレー半島	平成30年9月26日(木)～10月5日(金) 9泊10日 ・コタキナバル、クニンゴ、マリ、プルネイ、ラファン、マレー半島	20人	平成30年7月28日
2 マリアナ諸島	平成30年10月10日(水)～10月16日(火) 6泊7日 ・A班=グアム島、サイパン島、B班=サイパン島、アニアン島	40人	平成30年8月10日
3 トラック・パラオ諸島	平成30年10月20日(土)～10月27日(土) 7泊8日 ・A班=春島、夏島、秋島、水曜島及び環礁内洋上懸垂 ・B班=パラオ本島、ペリリュー島及び環礁洋上懸垂	40人	平成30年8月20日
4 フイリピン(1次)	平成30年11月2日(金)～11月9日(金) 7泊8日 ・A班=マニラ及び東方山地 ・B班=コレヒドール、クラク、マニラ南方 ・C班=ルソン島北部(バギオ、クラク) ・D班=ルソン島北部(バゲオ、クラク、ソラノ、キャンガン、オリオン) ・E班=ネグロス島(コロド、バナイ島(イロイロ)) ・F班=セブ島、レイテ島(タクロバン、プラウエン、リモン、ピリアバ、カンギボット山、オルモック)	120人	平成30年9月3日
5 ソロモン諸島	平成30年11月21日(水)～11月28日(水) 7泊8日 ・ガダルカナル島、ニュージョージア島(ムンダ)	20人	平成30年9月21日
6 ミャンマー・タイ(1次)	平成30年11月27日(火)～12月6日(水) 9泊10日 ・A班=ヤンゴン、バグー、トンダー、マンダレー ・B班=ミートキーナ、マンダレー、メーグラー、バガン ・C班=ヤンゴン、マンダレー、カレミョー、ブロム ・D班=タイ東部(チェンマイ、メーホーン)、ヤンゴン、バグー、モルメン	80人	平成30年9月27日
7 台湾・パシフィック	平成31年1月18日(金)～1月24日(木) 6泊7日 ・A班=台北、台中、高雄、基隆 ・B班=台北、花蓮、台東、墾丁	30人	平成30年11月18日
8 マーシャル・ギルバート諸島	平成31年3月9日(土)～3月17日(日) 8泊9日 ・A班=クエゼリン、マジュロ ・B班=クララ、マジュロ	40人	平成30年11月9日
9 フイリピン(2次)	平成31年3月13日(水)～3月20日(水) 7泊8日 ・A班=マニラ及び東方山地 ・B班=コレヒドール、クラク、マニラ南方 ・C班=ルソン島北部(バギオ、クラク) ・D班=ルソン島北部(バゲオ、クラク、ソラノ、オリオン、ツダガラオ) ・E班=ネグロス島(コロド)、ミンダナオ島(ダボ、タモガン) ・F班=セブ島、レイテ島(タクロバン、プラウエン、リモン、ピリアバ、カンギボット山、オルモック)	120人	平成31年1月11日
10 中国	平成31年3月22日(金)～3月30日(土) 8泊9日 ・A班=北京、鄭州、太原 ・B班=上海、南京、武漢 ・C班=上海、武漢、香港、長沙 ・D班=廣州、桂林、長沙	80人	平成31年1月22日

上記10地域の他に特定地域として下記3地域を行う予定です。

1 西部ニューギニア	平成31年2月4日(月)～2月13日(水) 9泊10日 ・A班=ジャヤプラ(田ホランジャヤ)、ゲム、ビアク島 ・B班=マノクリ、ソロン	35人	平成30年12月4日
2 東部ニューギニア	平成31年2月13日(水)～2月20日(水) 7泊8日 ・A班=マダン、ハンサ、ウエクラ ・B班=ボボンダック、ギルワ、ラエ、サラモア	35人	平成30年12月13日
3 ミャンマー	平成31年2月28日(火)～3月6日(水) 8泊9日 ・A班=ヤンゴン、バグー、トンダー、ラシオ ・B班=ミートキーナ、マンダレー、アキヤブ	35人	平成30年12月21日

下記地域については、応募状況によって機上調整等を実施する場合があります。

- ①西部ニューギニア(ワタケ、ダンケン、トル川、サルミ、ムミ、メンホル島)
- ②東部ニューギニア(ソナム、マルジック、ヌヌ、アイトバ、山南方面)
- ③マーシャル・ギルバート諸島(ルオット、ウオツ、マロエラップ、ミレ、ヤルット)

日本遺族会では、平成30年度戦没者遺骨収集事業への参加希望者の事前登録を行っている。戦没者の遺骨は、孫、ひ孫、甥、姪等の青年部も広く登録願いたい。申込登録事項は次のとおり。

※派遣先地予定地域及び期間、30年度遺骨収集実施予定表参照。

※相手国行政機関等との調整、現地での治安状況等の理由により事業が変更、中止となる場合がある。

▼参加資格 ①原則年齢制限はなく、身体健康な若く現地の収容作業等に従事できる者 ②各都道府県遺族会の会員である戦没者の遺児、孫

また、巡拝地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期または中止となる場合があるため、予めご了承願いたい。

▼参加登録方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。参加登録にあたり申込用紙を取り寄せ、全ての項目に記入したうえで、提出願いたい。

なお、参加希望者が推進協会から指定された定員を上回る場合は、選考となる。また、派遣費用

No.	地域名	派遣期間
1	トラック諸島	10月14日(日)～10月25日(木)
2	ビスマーク・ソロモン諸島(第1次)	10月24日(水)～11月8日(木)
3	マリアナ諸島	11月6日(火)～11月16日(金)
4	樺太・占守島	11月13日(火)～11月21日(水)
5	パラオ諸島	12月1日(土)～12月13日(木)
6	ギルバート諸島	1月15日(火)～1月30日(水)
7	インド	1月25日(金)～2月8日(金)
8	積黄島(第4回)	1月29日(火)～2月14日(木)
9	東部ニューギニア	2月13日(水)～2月28日(木)
10	マーシャル諸島	2月24日(日)～3月7日(木)
11	ミャンマー	2月26日(火)～3月14日(木)
12	ビスマーク・ソロモン諸島(第2次)	2月27日(水)～3月14日(木)

30年度 遺骨収集実施予定表

事前に登録を願う

遺骨収集参加者募集

ひ孫、甥、姪で、身体健康な者 ③本会の協力団体関係者並びに、本会事業の推進に賛同いただける者

※派遣者は健康診断書並びに宣誓書の提出が義務付けられており、参加の有無については、遺骨収集事業を主催する日本戦没者遺骨収集推進協会の判断に従う。

本会への賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願している本会への賛助金につきまして、ご賛同いただきましたこと左記の方々に対し、お礼申し上げます。

なお、大変お礼ではございますが都道府県名にについては、送金方法により居住地域が特定できない場合がございますので、省略させていただきます。

賛助者名 敬称略、カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等

追田清美、坂下照之、吉川愛子、中山宏、田野岡邦子、石田義久、林敏弘、石川富子、森山キヨ

日本遺族会への賛助金のお礼

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族慰霊、慰霊友好親善事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

本会の活動の趣旨に理解を賜り何卒ご賛同いただけますようお願い申し上げます。

0113022699999999  
0113022699999999

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
日本遺族会 総務課 九段店  
電話 03-5561-0000  
FAX 03-5561-0001

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報(個人情報保護法)の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

子(以上、六月一日から六月末日まで) 活動費用に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

好問 友訪 霊善 慰親

遺児の参加者募集 小学校や病院等も訪問

日本遺族会では、厚生労働省から補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集している。この事業は、戦没者の遺児を対象とした事業で、現地の慰霊追悼や、小学校、病院等を訪問して友好親善をはかることを目的としている。参加費は十万円。

募集要項については次のとおり。

▼時期及び地域 実施計画概要参照

▼参加費 10万円

▼参加資格 戦没者の遺児。平成19年度産参

加者を除き、複数回の応募が出来る。

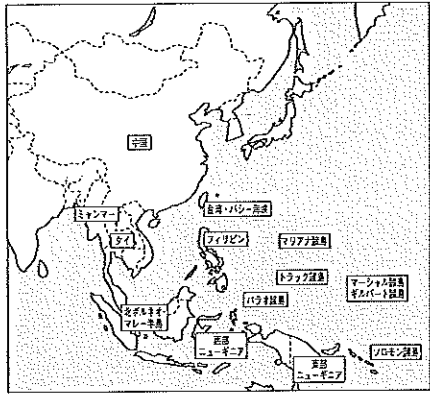
▼その他 集合場所は、東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所から

の交通機関は、自身の手配となる。

また、移動に係る国内交通費及び帰国の宿泊代、渡航手続き料等は個人負担となる。

▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。

参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目の全てに記入を要するの事で、事前に申込用紙を取り寄せていただき、記入



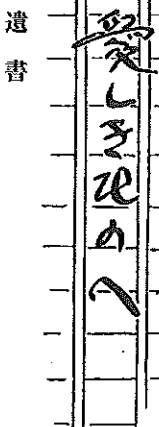
項目に不明な点(戦没者の部隊名等)があれば各遺族会に相談し条件を適合は選考となる。

# 沖繩戦跡慰霊巡拝

## 関係遺族の参加者募集

日本遺族会は、本会主催の沖繩戦跡慰霊巡拝の実施を予定している。この戦跡慰霊巡拝は、太平洋戦争末期、住民を巻き込んだ激しい地上戦となり、多くの尊い命が失われた沖繩を巡り、戦没者の冥福を祈念するものである。沖繩で肉親を亡くされた戦没者の遺族であれば、なたでも参加できるので、この機会に参加をお勧めする。

募集要項は次のとおり。  
 ※参加者は、本会が指(予定)  
 ▼実施時期 十月二十三日(火)～十月二十七日(土)の四泊五日を予定  
 ▼募集人員を向上回った場合、事業終了後、沖繩で解散となる。  
 ▼参加資格 沖繩及び周辺海域で肉親を亡くされた戦没者の遺族(妻・姉妹・兄弟・孫・兄弟・姉妹)  
 ▼募集人員 四十人



### 遺書

陸軍兵長 小川 平吉 命  
 昭和十八年十一月二十一日  
 中華民国安徽省にて戦死  
 東京杉木所区小梅出身 二十二歳

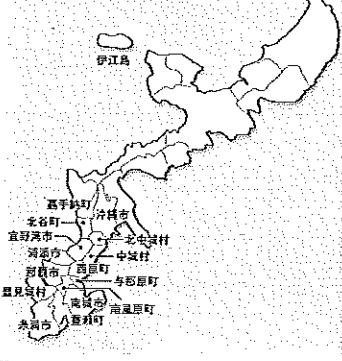
人生僅か二十年、時の流れの激しさに、吾は思はず涙出る。  
 あ、然れども日本人なるぞ。  
 吾は国の為、家の為、社会の為に盡す。  
 吾が尊き人間を捧ぐる秋。  
 吾が日の本の孫の子等が喜び勇む生活に、幸福なる姿、目に浮かぶ。  
 あ、吾は遂く、尊き犠牲の一人として悠々の大義に生きる。

『平成三十年七月靖国神社遺書』  
 愛しきこのへ

### 本会主催

男・姪等  
 ※原則として、長途の移動及び気候・風土の異なる地での旅行に耐えられる健康状態が良好な方に限るので、心配な方は申込みの際に事前に申告願いたい。  
 ▼参加費用 7万円(8万円程度)  
 ※参加人数により費用は異なる。また、集合場所の沖繩までの往復交通費等は別途個人負担となる。

### 沖繩慰霊巡拝実施地図



### 九段短歌

遺著 安元 百合子  
 王友市 桑野 肇子  
 富山県 酒井 睦子  
 小諸市 塩川 篤子  
 大田市 高岡 千鶴  
 青森県 田中 恭子  
 鳥栖市 松尾美津子  
 松原市 祐野 健三

「後の髪引かれる思いで、我に想い遣り父の手紙は、筆管にもめげず、後には濡開に花粉を飛ばす」

戦死せし父を偲び、母たちの建立せる碑の前にたずむ  
 残照の身元特定の新聞に父の名は無し、疎るは何処  
 はるかなる五歳の記憶を、ぬより抱きし父の骨格を  
 し  
 空を高くく澄める日は、聞こえぬか父の口笛「戦友」の歌  
 父思ふ心は、はるかに島国の椰子の影に、光る白波



「西原の塔」でご英霊の冥福を祈る  
 =平成28年11月、沖繩中部地区の翁長で

▼申込締切 八月三十一日(金)  
 ▼申込方法 申込は在住する各都道府県遺族会の事務局へ。  
 ※申込書の記入にあたり、戦没者の所属部隊名など未確認の場合は、各都道府県庁で事前に確認が必要となる。  
 ※参加人数が募集人数を大幅に下回った場合は、中止となるので、予め承願したい。

出征時の家族の写真をつけた父の凍々とした顔が、あつた。  
 長浜市 雨森 貴子  
 豊後高田市 安藤 幸枝  
 千葉市 石橋 嘉子  
 甲州市 萩野 墨子

安藤さんの歌は「南の国から日本に帰る燕に便りを托す」の軍事郵便に因っての歌です。皆様のお歌に接し、長い年月を経ても深い深い心のつながりが続くことを強く感じました。

七月七日は昭和十二年に盧溝橋事件が勃発した日。北支那支那軍、支那軍、大東亞戦争と拡大のやむなきに至り、多くの尊い生命を失うことになりました。ふたつなき生命をさけて守るよりほかなきこの国のいのちは

昭和21年1月1日 藤野 敬三

山口県 6月3日 平成30年度山口県戦没者遺族大会(450人)  
 北海道 6月4日 第49回全道戦没者遺族大会(600人)  
 徳島県 6月1日 3日ブロック別研修会  
 南部ブロック(160人)  
 東部ブロック(110人)  
 西部ブロック(140人)  
 富山県 6月7日 富山県北方戦没者の慰霊祭(69人)  
 徳島県 6月9日 第45回語り部事業(80人)  
 岩手県 6月19日 平成30年度県下遺族会会長・事務担当者合同研修会(150人)  
 石川県 6月20日 21日 平成30年度石川県遺族連合会女性部研修会(72人)  
 新潟県 6月21日 22日 戦没者遺児の集い(145人)  
 群馬県 6月27日 平成30年度群馬県遺族の会幹部研修大会(230人)

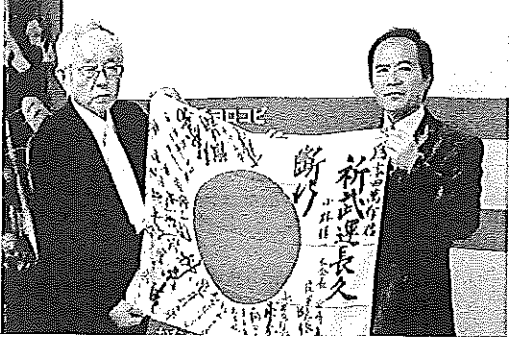
## 愛知県で日章旗返還

### OBONソサエティ

戦没者の遺品の返還運動を推進しているOBONソサエティから本会に照会があった。沖繩で戦死した本田萬作さんの日章旗について、愛知県遺族連合会へ遺族の捜索を依頼していたところ、本田さんが安城市出身であることが分かり、遺族の所在も判明した。

マサチューセッツ州在住の「遺族が判明し心から嬉しく思います。本田家の親族皆様にとって旗の返還が心の終止符となります。ぜひお願ひしております」とウイリソンさんから遺族あてにメッセージが添えられた。

五月十四日、安城市役所で返還式が行われ、神谷字市長から本田さんの兄の長男である紋さんと日章旗が引き渡され、紋さんは、「こんなに長い時を経て帰ってくるとは思わなかった。うれしい限りです」と話した。



日章旗を受け取った本田紋さん(左)と神谷学・安城市市長  
 =5月14日、安城市役所で

お詫び  
 本紙6月号(第810号)発行の一面「理事會」の記事で改正案では、「戦没者の妻等を以て組織する」の表記で誤りがありました。正しくは「戦没者遺児の妻等」になります。ここに訂正して深謝いたします。